



[様式第3号]

資料提供年月日	令和4年11月11日	
問い合わせ先	課名	文化振興課
	電話	直通 803-1054 内線 3743
担当者	職名・氏名	課長 岡村
	職名・氏名	副主幹 上林 主任 安田

## 広 報 連 絡

- 1 件 名 令和4年度(第49回)岡山市文化奨励賞表彰式を開催します
- 2 趣 旨 本賞は、岡山市において学術・芸術の分野で中堅的存在として活躍している市民を表彰し、今後一層の研鑽を奨励するため、昭和49年に制定したものです。表彰部門は、学術部門と芸術部門の2部門です。  
受賞者については、市内の関係方面より推薦をいただいた後、選考委員会の選考等を経て決定したものです。なお、受賞者には、本賞(賞状及び賞牌)並びに副賞(賞金)を贈ります。賞牌は<sup>おおぎりくにみつ</sup>大桐國光氏が制作したブロンズ浮彫です。
- 3 日 時 令和4年11月16日(水)13時30分～14時00分
- 4 場 所 岡山市役所本庁舎3階 第3会議室
- 5 受 賞 者 学術部門 <sup>ふくだ</sup>福田 <sup>ひろし</sup>宏氏(貝類学)  
芸術部門 <sup>まさき</sup>榎木 <sup>かずよし</sup>和敬氏(声楽)

\*詳しくは別添資料のとおり。

令和4年度（第49回）岡山市文化奨励賞

学術部門

ふくだ ひろし  
福田 宏（貝類学）



生年月日：昭和40年7月18日（57歳）  
住 所：岡山市北区津島中

■表彰理由

福田氏は、幼少期から50年以上に渡って、貝類の分類を継続し、これまでに46種の新種を命名してきた。

貝類の分類にとどまらず、移動能力の乏しい貝類が環境の変化に敏感であることから、自然環境との関係が密接であることに着目して、貝類の個々の種と環境条件との関係について研究している。

日本貝類学会論文賞や日本動物学会動物学教育賞を受賞するなど、多数の受賞歴を有している。

これらの研究の成果を活用した生物多様性の保全に向けた観点は、SDGsの一環としても重視されており、自然環境保全に貢献する研究として注目されている。

同氏による発展性の高い研究と成果を評価するとともに、今後の更なる活躍を期待して本賞を贈る。

■略歴

昭和59年3月 山口県立山口高等学校卒業  
平成4年3月 東京都立大学理学部生物学科卒業  
平成6年3月 東京都立大学大学院理学研究科生物学専攻修士課程  
平成10年3月 東京都立大学大学院理学研究科生物学専攻博士課程  
平成12年8月 岡山大学農学部助教授  
平成17年4月 岡山大学大学院環境学研究科助教授  
平成19年4月 岡山大学大学院環境学研究科准教授  
平成24年4月 岡山大学大学院環境生命科学研究科准教授  
令和3年4月 岡山大学学術研究院環境生命科学学域（農学系）准教授

芸術部門

まさき かずよし  
榎木 和敬（声楽）



生年月日：昭和43年12月25日（53歳）  
住 所：岡山市北区東花見

■表彰理由

榎木氏は、国立音楽大学音楽学部声楽科を卒業後にヨーロッパに渡り、オペラ「椿姫」に出演してデビューし、イタリアをはじめ、オーストリア、ドイツ、フランス、イギリスなどのヨーロッパ各国でオペラ公演に出演した。

人柄な体躯と頼まれなるテクニクにより、身体を共鳴させて歌い、大編成のオーケストラと生の声で共演できる実力者である。

岡山唯一のプロテノール歌手として、オペラ公演をはじめ、市民参加のミュージカルにも出演するほか、ルネスホールでのオペラ研修事業を立ち上げるなど、専門的な発声法、歌唱法、演技術の指導を通して、地域文化の向上と後進の育成にあたっている。岡山市の文化芸術の振興に貢献している点を評価するとともに、今後の更なる活躍を期待して本賞を贈る。

■略歴

昭和62年3月 岡山県立玉野光南高等学校卒業  
平成3年3月 国立音楽大学音楽学部声楽科卒業  
平成9年 オペラ「椿姫」でヨーロッパデビュー（スロベニア 国立ルブリアーナ歌劇場）以降、オーストリア、ドイツ、フランス、イギリス、ノルウェー、オランダ、ベルギーなどヨーロッパ各国でオペラ公演に出演  
平成14年6月 イタリア・コロポエ音楽アカデミー プロフェッショナルコース修了  
平成18年 福武教育文化振興財団 文化奨励賞受賞  
平成20年 イタリア・ブスホルド市立歌劇場と契約  
平成24年8月 マルセン・スポーツ文化振興財団 文化賞受賞  
平成29年6月 ルネスアカデミー「アルテ・シェニカ」のオペラ部門主任講師に就任